
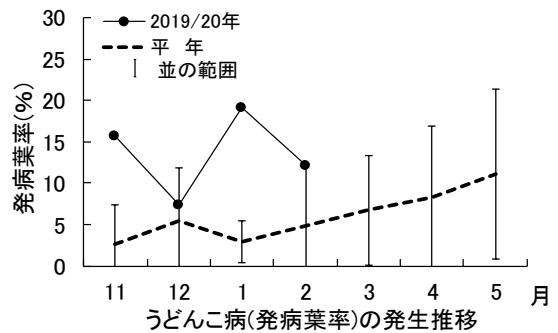
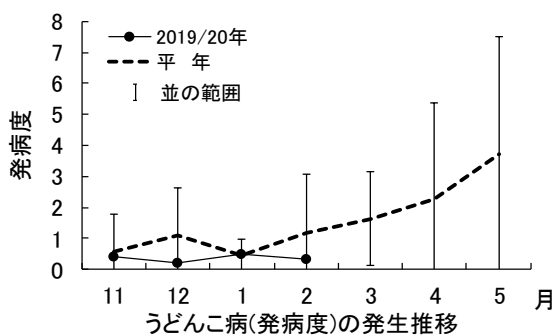


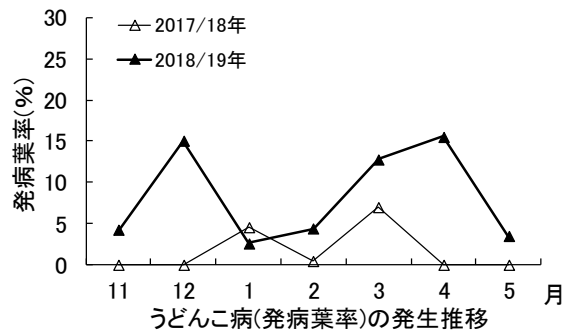
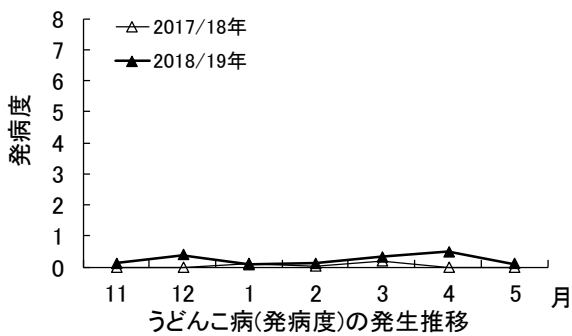
|       |                 |               |   |
|-------|-----------------|---------------|---|
| 作物    | ゴーヤー(施設)        | 地域            | 宮古群島  |
| 病害虫名  | ① うどんこ病         |               |  |
| 予報    | 3 月の発生量 (平年比)   | 並~やや多         |   |
|       | 2 月からの増減傾向      | ↗             |   |
| 予報の根拠 | 2 月の発生量 (平年比)   | 並             |   |
|       | その他<br>(気象要因など) | 平年の発病量の推移 (↗) |   |

調査結果

今期と平年の推移




過去2年間の推移



・発生ほ場率：80%（平年値：40.8%）

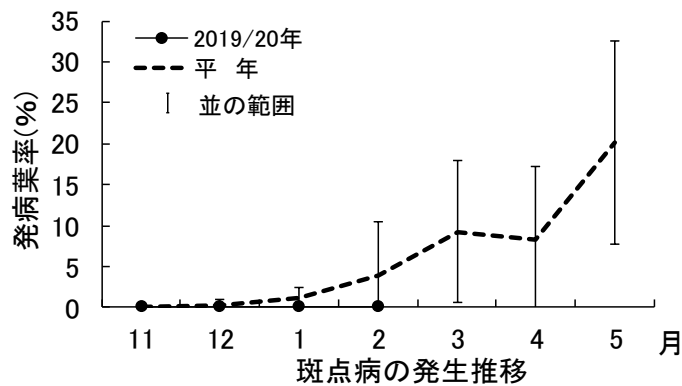
防除のポイント

- ・老葉や病葉は発生源になるので除去し、施設外に持ち出し処分する。
- ・過繁茂を避け、透光通風を良くする。
- ・多湿条件で発生し、その後乾燥が続くと被害が拡大するため、湿度管理に注意する。
- ・多発すると防除が困難になるため、予防散布に重点をおく。硫黄粉剤による予防は効果が期待できる。

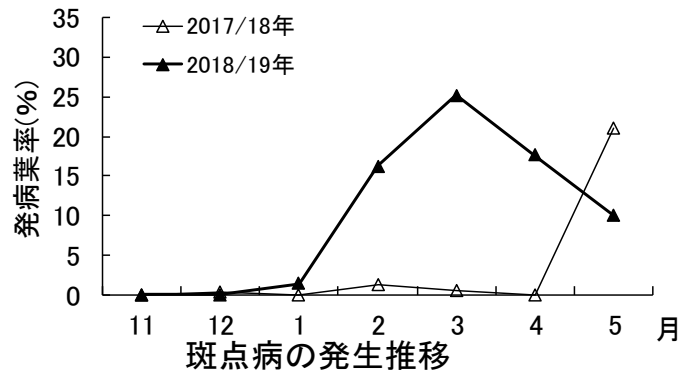
|       |                 |               |   |
|-------|-----------------|---------------|---|
| 作物    | ゴーヤー(施設)        | 地域            | 宮古群島  |
| 病害虫名  | ② 斑点病           |               |  |
| 予報    | 3 月の発生量 (平年比)   | 並             |   |
|       | 2 月からの増減傾向      | ↗             |   |
| 予報の根拠 | 2 月の発生量 (平年比)   | (発生なし)並       |   |
|       | その他<br>(気象要因など) | 平年の発生量の推移 (↗) |   |

調査結果

今期と平年の推移




過去2年間の推移



・発生は場率：0.0%（平年値：22.4%）

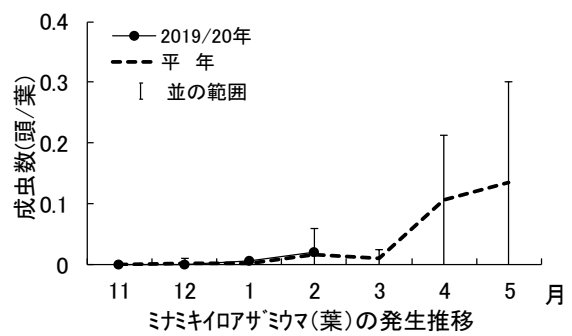
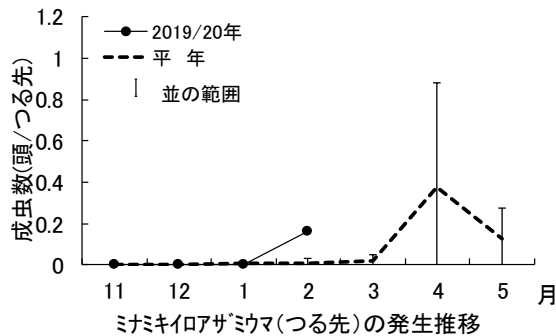
防除のポイント

- ・葉には周囲が黄色で中央が灰色の円形病斑を形成し、果実では表面にすす状のカビを生じる。
- ・老葉や病葉は発生源になるので、施設外に持ち出し処分する。
- ・過繁茂を避け、透光通風をよくする。
- ・多湿条件で発生が助長されるため、湿度管理に注意する。またビニールの破れは補修する。

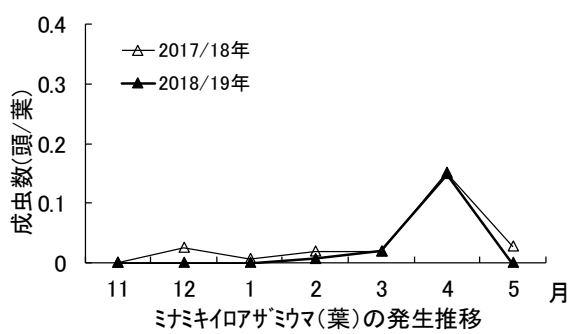
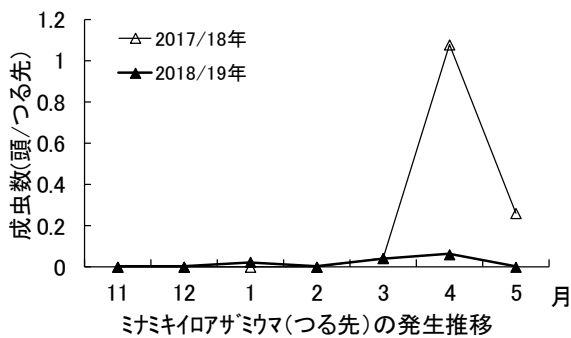
|       |                 |                      |   |
|-------|-----------------|----------------------|---|
| 作物    | ゴーヤー(施設)        | 地域                   | 宮古群島  |
| 病害虫名  | ③ ミナミキイロアザミウマ   |                      |  |
| 予報    | 3 月の発生量 (平年比)   | 多                    |   |
|       | 2 月からの増減傾向      | ↗                    |   |
| 予報の根拠 | 2 月の発生量 (平年比)   | 多                    |   |
|       | その他<br>(気象要因など) | 今後 1 か月の気温が平年より高い見込み |   |

調査結果

今期と平年の推移



過去2年間の推移




・発生ほ場率：40.0% (平年値：12.2%)

防除のポイント

- ・本種は吸汁により果実表面にケロイド状の被害を生じるほか、灰白色斑紋病を媒介する。
- ・施設の出入口や側窓は0.6ミリ以下のネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- ・施設周辺の雑草は本種の発生源になるため除去する。
- ・多発すると防除が困難になるので、つる先や葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

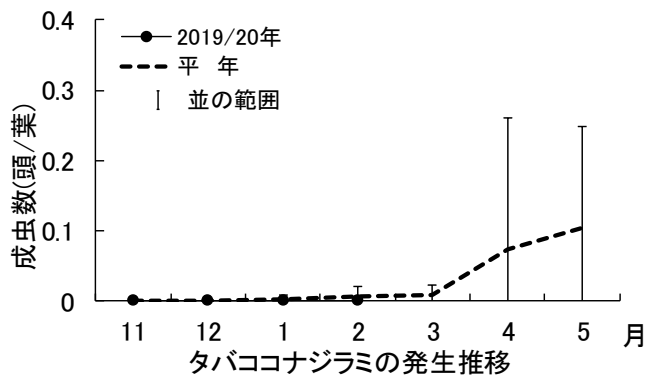


果実の被害

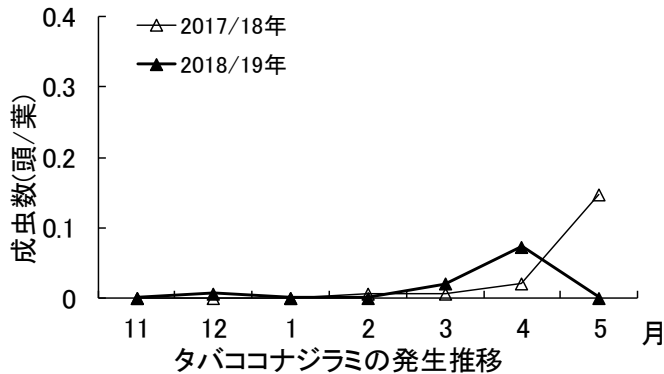
|       |                 |               |   |
|-------|-----------------|---------------|---|
| 作物    | ゴーヤー(施設)        | 地域            | 宮古群島  |
| 病害虫名  | ④ タバココナジラミ      |               |  |
| 予報    | 3 月の発生量 (平年比)   | 並             |   |
|       | 2 月からの増減傾向      | →             |   |
| 予報の根拠 | 2 月の発生量 (平年比)   | (発生なし)並       |   |
|       | その他<br>(気象要因など) | 平年の発生量の推移 (→) |   |

調査結果

今期と平年の推移



過去2年間の推移



・発生ほ場率：0.0%（平年値：8.2%）

防除のポイント

- ・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
- ・施設開口部には目合い0.6ミリ以下の防虫ネットを展張し、本種の侵入を防止する。
- ・黄色粘着テープ等により、早期発見・防除に努める。
- ・幼虫は下位葉の葉裏に多いことに留意しながら薬剤散布を行う。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避け、気門封鎖系等の薬剤も利用する。